

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\* 1894年の東京天文台第2代台長平山信の論文収蔵**

平山信は、アーカイブ(室)新聞に数多く登場している。平山信で検索すると、アーカイブ新聞第18、22、31、101、191、280、281、283、288、360、390、406、407、417、421、435、443、565、581、604、609、650、669、728、729、732、733、735、810、811、873、877、841、842、846、847、858、864、875、876、909号にヒットする。

平山信は、東京天文台第2代台長(大正8年10月9日～昭和3年3月31日)であった。平山信については、今まで平山信のお孫さんである国立天文台名誉教授平山淳氏からたくさん資料の提供をいただいている。これらの資料については、平山信でヒットしたアーカイブ新聞をご覧いただきたい。今回は、平山淳氏が今の国立天文台長林正彦氏に提供された資料2点である。

1) Principles of optics の論文の表紙と中の1ページのコピー(図1)

# Principles of optics

*Electromagnetic theory of propagation,  
interference and diffraction of light*

MAX BORN

MA, Dr Phil, FRS

Nobel Laureate

*Formerly Professor at the Universities of Göttingen and Edinburgh*

and

EMIL WOLF

PhD, DSc

*Wilson Professor of Optical Physics, University of Rochester, NY*

with contributions by

A. B. BHATIA, P. C. CLEMMOW, D. GABOR, A. R. STOKES,

A. M. TAYLOR, P. A. WAYMAN AND W. L. WILCOCK

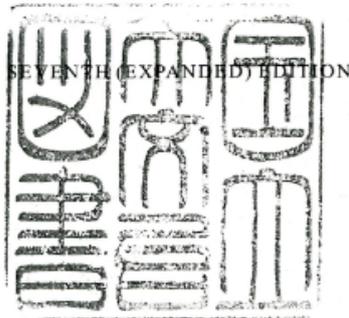
図1

表紙の下部には「国立天文台図書」の印象が押ししており、出版社は CAMBRIDGE UNIVERSITYPRESS とある(図3)。そしてこの論文の表紙に添えられた443ページ(図2)に参照文献として、1894年の平山信の論文が参照されていた(図4)。

8.5 Fraunhofer diffraction at apertures of various forms

443

図2



930678



CAMBRIDGE  
UNIVERSITY PRESS

図 3

† Fraunhofer diffraction at an annular aperture is briefly considered in connection with resolving power in §8.6.2.

Photographs of Fraunhofer diffraction patterns for apertures of various forms can be found in a paper by J. Scheiner and S. Hirayama, *Abh. d. Königl. Akad. Wissensch.*, Berlin (1894), Anhang I. Photographs of Fresnel patterns were published by Y. V. Kathavate, *Proc. Ind. Acad. Sci.*, **21** (1945), 177–210.

図 4

2) そして 2 点目が、その 1894 年の平山信が共著の論文である (図 5)。

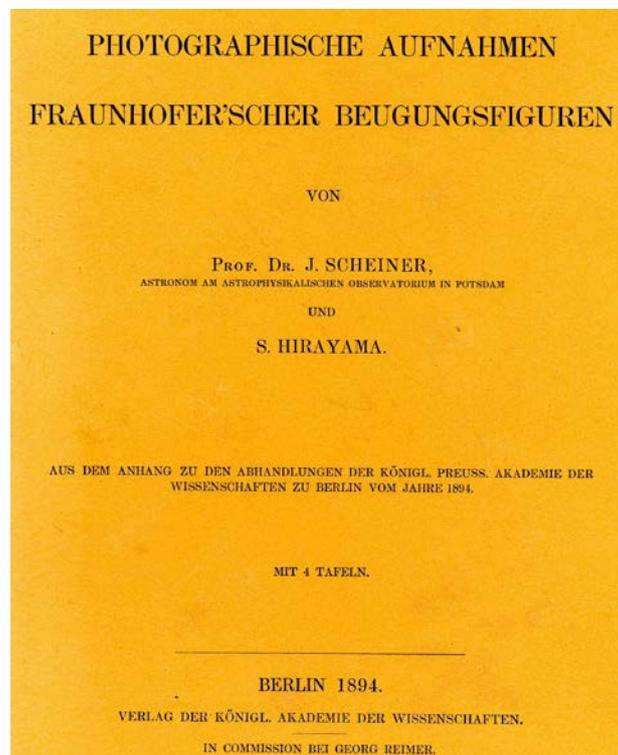


図 5

写真 1～4 が「Principle of optics」に  
**Photographs of Fraunhofer diffraction patterns for apertures of various forms**  
 として引用された写真である。

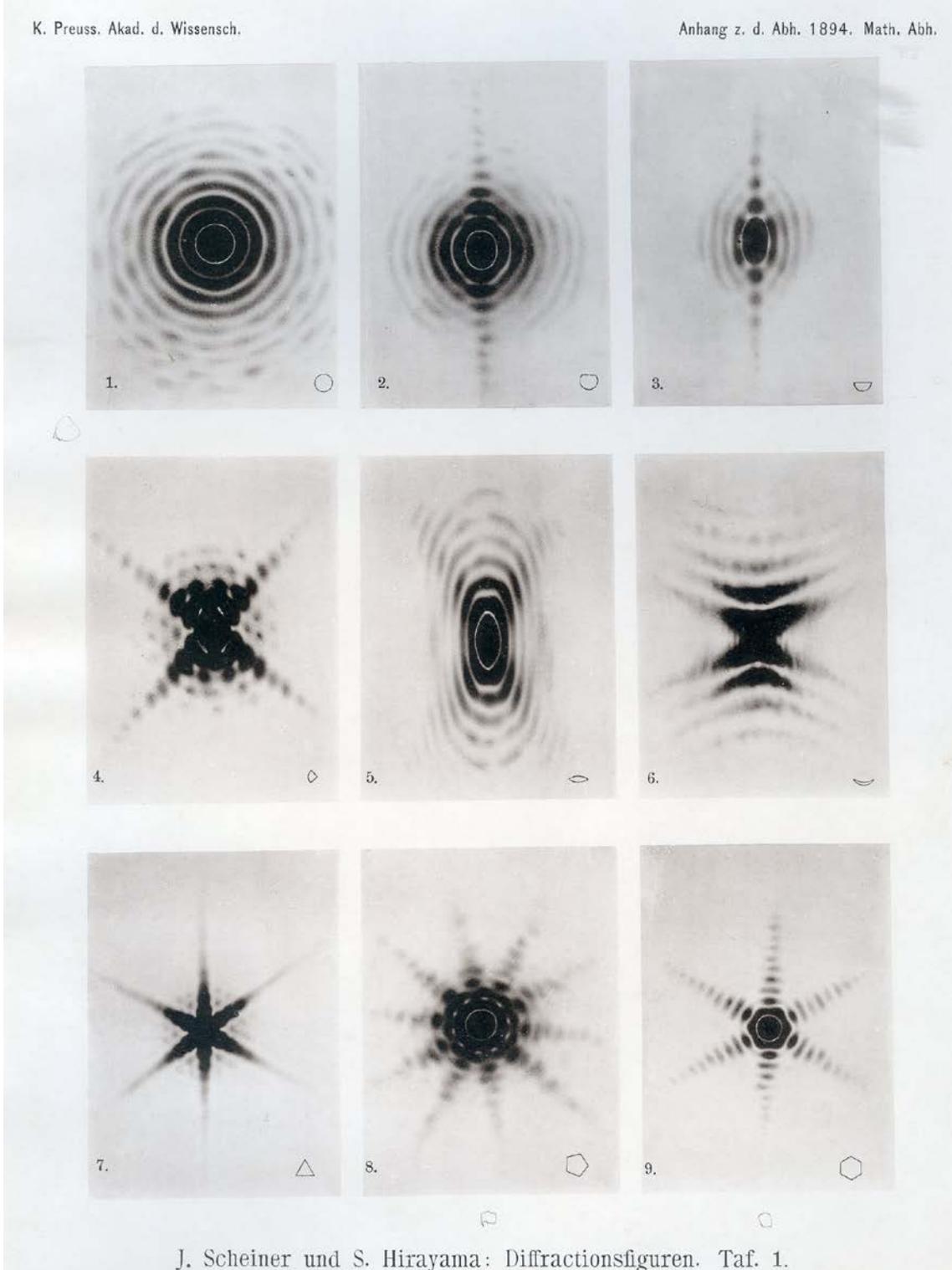
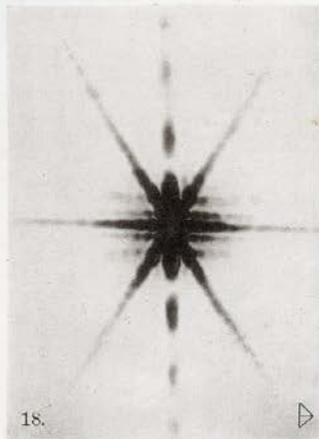
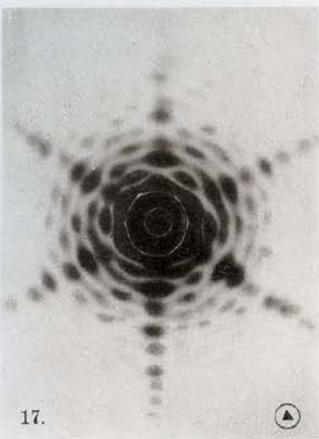
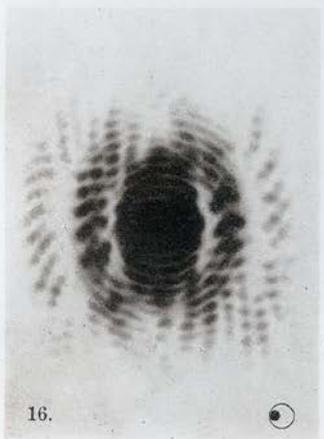
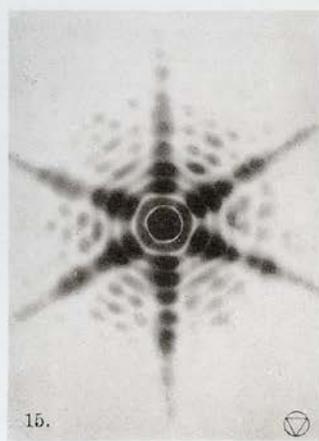
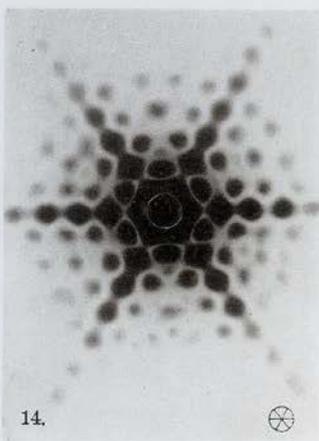
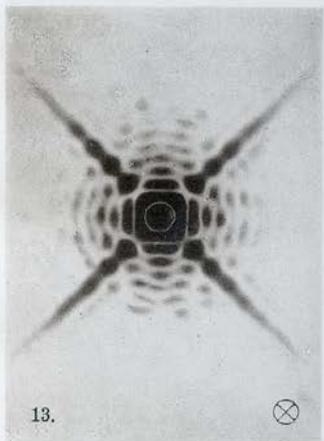
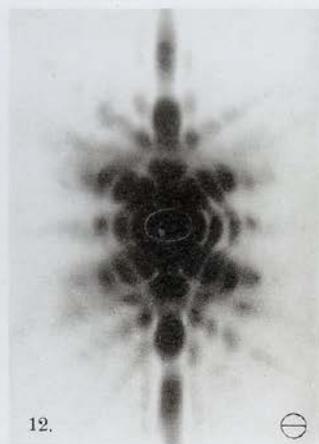
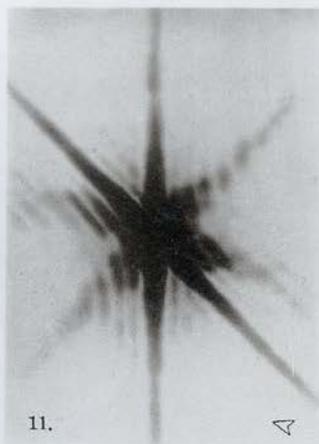
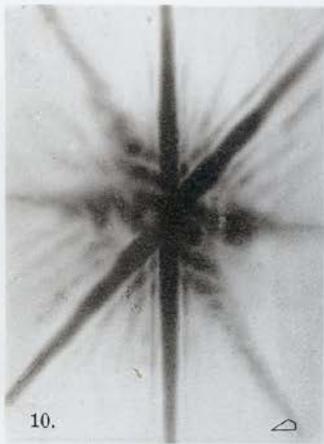
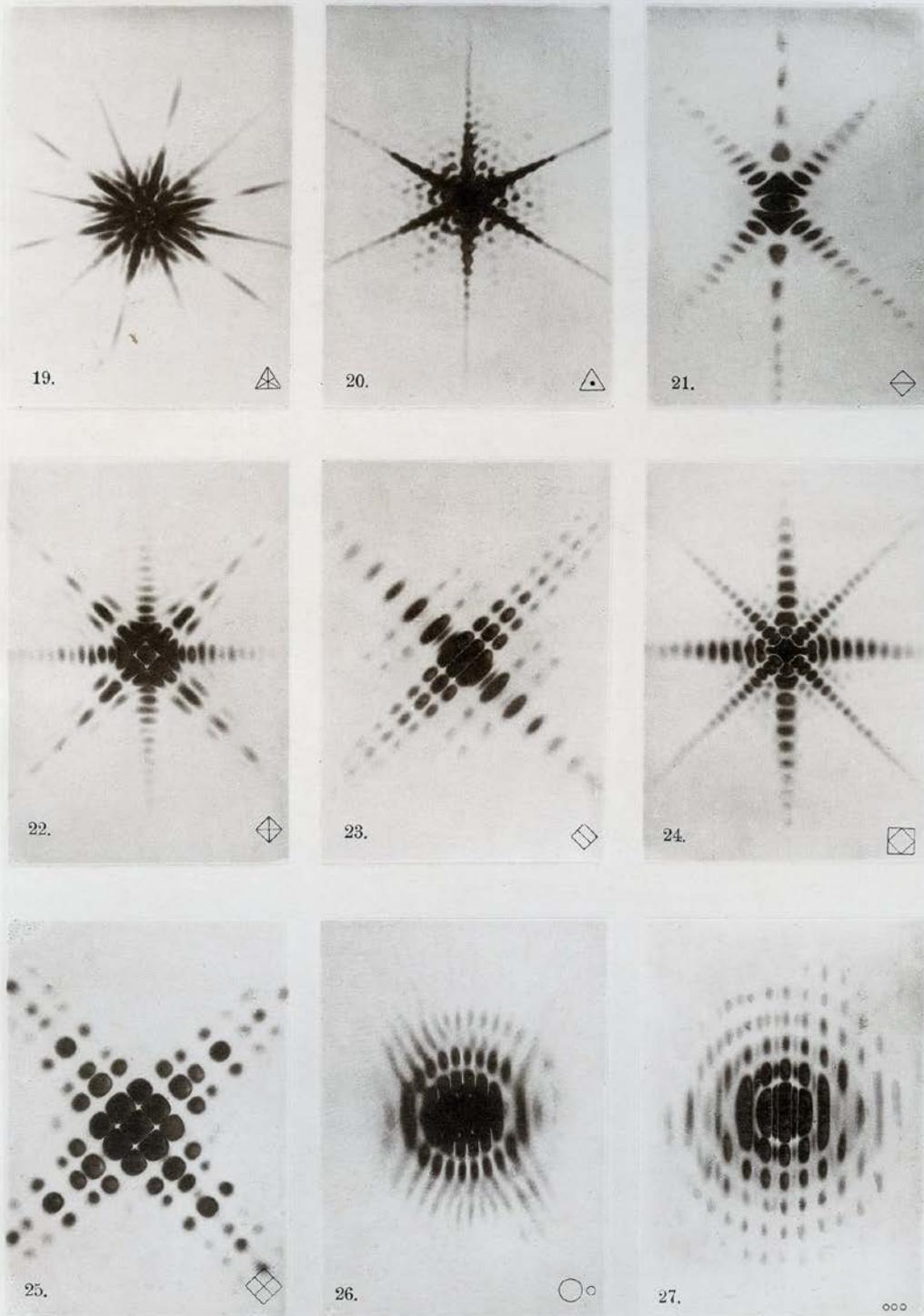


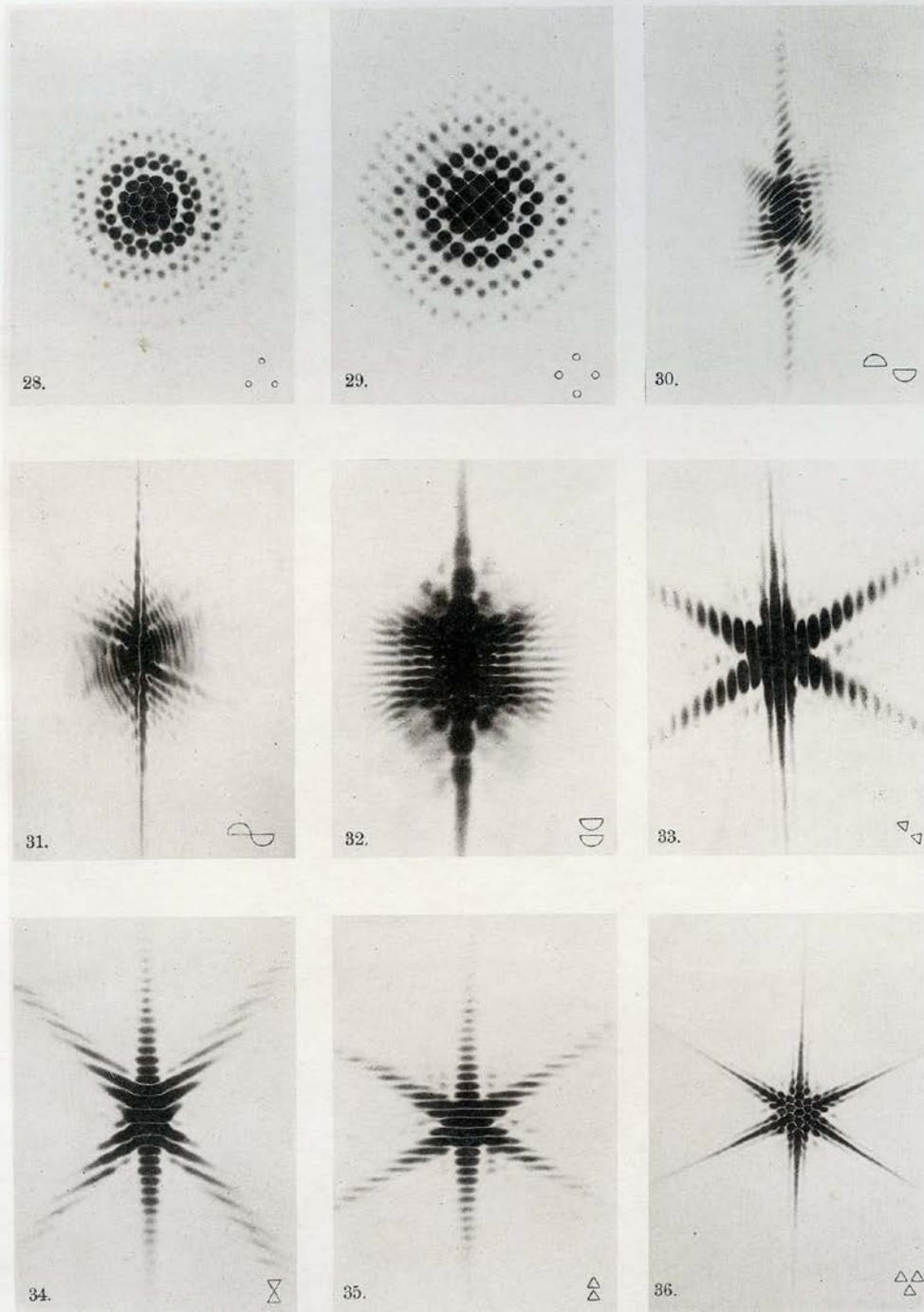
写真 1



J. Scheiner und S. Hirayama: Diffractionsfiguren. Taf. 2.



J. Scheiner und S. Hirayama: Diffractionsfiguren. Taf. 3.



J. Scheiner und S. Hirayama: Diffractionsfiguren. Taf. 4.

1894 年は明治 27 年である。この時期、すでに日本の天文学者の仕事が、ヨーロッパの光学の論文に引用されるほどの成果を上げていたことは特筆すべきことと思う。

この収蔵された平山信の論文は、国立天文台図書室貴重図書館の平山文庫に加えさせていただきます。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)